

令和2年第3回定例会

令和2年度補正予算（案）の概要

第3回定例会では、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」などを活用し、幅広く市民の消費を喚起することを目的とした「まるごと小樽プレミアム付商品券事業費」や、保育士・医療従事者等への慰労金の支給、一度に多数の感染者等を送送することができる車両の整備、国の「GIGAスクール構想」の前倒しに伴う「1人1台端末」の円滑な導入に係る経費などを計上しました。

そのほか、教育委員会庁舎を旧小樽商業高校へ移転することに伴う改修工事費や、令和元年度決算に伴う繰越金、財政調整基金積立金などを計上しました。

[先議分]

会 計 名	補正予算額
一 般 会 計	8億2,832万6千円

【補正予算の主な内容】

◇ 新型コロナウイルス感染症対策関連予算

◀ 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」活用事業（市独自） ▶

バスロケーションシステム導入事業費補助金 6,000万円

利用者がバスの位置情報や運行状況等をスマートフォン等で確認できるシステムの導入に係る費用を助成

- ・多言語に対応し、インバウンドによる公共交通の利用を促進
- ・助成先：北海道中央バス株式会社

まるごと小樽プレミアム付商品券事業費 7億円

感染症拡大による市内経済への影響を緩和し、幅広く市民の消費を喚起することを目的にプレミアム付商品券を販売

- ・額面：13,000円（販売額10,000円）
- ・発行枚数：50,000冊（1,000円×13枚／冊）
- ・発行主体：市及び経済団体等により組織する「まるごと小樽プレミアム付商品券事業実行委員会」

◇ その他の補正予算

教育委員会庁舎等改修工事費【債務負担】 6, 832万6千円
 (債務負担3年度4,525万2千円)
 旧小樽商業高校校舎へ移転することに伴う改修等

(その他)
 [歳入] 財政調整基金繰入金 3, 760万6千円

[通常分]

会 計 名	補正予算額
一 般 会 計	7億6, 746万2千円
国民健康保険事業特別会計	1億5, 686万4千円
住宅事業特別会計	—千円 ※1
介護保険事業特別会計	2億2, 911万5千円
後期高齢者医療事業特別会計	4, 740万8千円
病院事業会計	3億1, 650万7千円
合 計	15億1, 735万6千円

※1 住宅事業特別会計は、歳入予算の補正のみ

【補正予算の主な内容】

◆ 一般会計

◇ 新型コロナウイルス感染症対策関連予算

◀「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」活用事業（市独自）▶

議会ICT推進事業費 750万円
 ペーパーレスな議会運営のため、全議員に貸与するタブレット端末を整備し、市政資料や議会資料をクラウド上で管理

業務オンライン化関係システム整備事業費 1, 300万円
 Web会議環境や遠隔地から庁内システムへアクセスするための専用端末等を整備

社会保障・税番号制度システム改修事業費	130万円
生活保護の決定を行う際に必要な調査においてマイナンバー情報連携ネットワークを活用するためのシステム改修	
ウィズコロナ移住促進事業費	1,000万円
<ul style="list-style-type: none"> ・市内での就業体験等を含む移住体験ツアーを開催 ・テレワークモニターを募集し、滞在期間中の宿泊費用の助成や特典を進呈 ・オンラインでの移住相談や、メディアを活用した移住PR広告を掲載 	
観光資源活用等共同研究事業費【繰越明許費】	659万円
(繰越明許費 440万円)	
小樽の歴史文化を活かした新たな観光資源を調査・整理し、活用の仕組み等について小樽商科大学との共同研究に係る事業費負担	
福祉・介護事業所等業務継続計画策定支援事業費	565万円
社会福祉施設や介護サービス事業所等において自然災害や感染症等により、事業継続が困難になる場合に備えた業務継続計画の策定を支援	
おたるアクティブシニア応援アプリ開発事業費補助金	470万円
「新しい生活様式」に対応した高齢者の生活を支援するため、介護予防や防災情報等を周知するツールとして独自のアプリ開発に係る経費を助成	
・事業主体：小樽市社会福祉協議会	
児童福祉施設等職員慰労金支給事業費	3,460万1千円
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態措置期間に認可保育所、認定こども園、預かり保育実施事業幼稚園、認可外保育施設に勤務した職員に対し、慰労金として、一人当たり5万円を支給 ・学校の臨時休業に伴う放課後児童クラブの臨時開設期間中に勤務した職員に対し、慰労金として、一人当たり3万円を支給 	
保健所体制強化事業費	3,800万円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信設備改修事業費 140万円 <ul style="list-style-type: none"> オンライン会議等の増加に対応するため、無線LANの構築及びパソコンを増設 ・ 車両購入費 415万円 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症患者搬送用の車両を更新 	

・庁舎施設改修事業費 3, 200万円
給水管直圧化工事及び非常用発電機改修等

・管理経費 45万円

医療専門学校オンライン化事業費補助金 1, 000万円
市内医療専門学校の3密対策としてオンライン授業構築等のための通信環境整備に係る経費を補助

新型コロナウイルス感染症拡大防止啓発事業費 150万円
・チラシを年2回、新聞折り込みにより配布
・医療機関、公共機関等においてポスター、ステッカーを掲示し、チラシを配布

放課後児童健全育成事業費（勤労女性センター費） 53万円

・通信機器整備事業費 20万円
緊急時のスムーズな連絡体制を構築するため、パソコン等の通信機器を整備

・慰労金支給事業費 33万円
学校の臨時休業に伴う臨時開設期間中に勤務した職員に対し、慰労金として、一人当たり3万円を支給

強い水産業構築緊急支援事業費補助金 400万円
感染症拡大の影響を受ける漁協の経営継続を支援するため、将来の水揚げ増加につながる資源維持・増大の取組に係る費用の一部を助成
・対象事業者：小樽市漁業協同組合、小樽機船漁業協同組合

青年会議所補助金 50万円
感染症拡大に対する経済対策として青年会議所が緊急的に実施する事業に係る費用の一部を助成

観光誘致プロモーションビデオ制作事業費【繰越明許費】 1, 500万円
(繰越明許費1,500万円)
現在の小樽及び北しりべし広域の自然とまちの魅力を映像化し、訪日外国人観光客にも対応した、小樽への訪問意欲を促す魅力的な観光誘致プロモーションビデオを制作

- 冬季イベント開催事業費補助金** 1,000万円
感染症拡大に対する経済対策及び観光客誘致の取組として雪あかりの路と時期を合わせた新規イベントの実施に係る経費を助成
・助成先：小樽雪あかりの路実行委員会
- 都市公園手洗い整備事業費** 300万円
市民が公園を安心して利用できる環境を整備するため、どんぐり公園及び末広公園に手洗いができる施設を設置
- フェリー航路利用者感染防止対策支援事業費補助金** 130万円
フェリー運航会社が乗船客の検温のために小樽港旅客上屋ターミナルに設置したサーマルカメラ等体温検知器の購入費用の一部を助成
- 消防職員感染防止対策事業費** 93万5千円
消防活動で使用した感染防止衣等を殺菌消毒する殺菌線ロッカーを整備
- 新型コロナウイルス等感染防止資器材整備事業費** 1,026万9千円
消防隊員の感染予防対策として、空気呼吸器面体及び防火フードを整備
- 検査業務資器材整備事業費** 100万円
消防検査での3密防止対策として、検査時間の短縮及び検査員数の削減を図るため、デジタルカメラ等を整備
- 新型コロナウイルス感染症等患者移送車両整備事業費【繰越明許費】**
5,023万1千円
(繰越明許費5,023万1千円)
集団感染の発生等に対応するため、一度に多数の感染者等を移送することができる車両を整備
- 救急業務高度化推進事業費** 1,007万6千円
感染症に罹患している傷病者を陰圧ボックス内に隔離した状態で搬送することができる感染対策用資機材（アイソレーター）を整備
- テレビ会議推進事業費** 55万円
市内各学校や後志教育局等とのテレビ会議に必要なタブレット端末等を整備

臨時休業等対策経費 **74万8千円**

臨時休業の際に児童生徒の家庭へ市教委から一括して文書や学習課題を郵送した際の経費

学習支援人材用パソコン整備事業費

・ **小学校費** **300万円**

・ **中学校費** **100万円**

「学校の段階的再開に伴う児童生徒等の学びの保障」のため増強される学校職員（加配教員、スクール・サポート・スタッフ）の使用する端末等を整備

学校生活環境改善整備事業費【繰越明許費】

・ **小学校費** **1,960万円**
(繰越明許費 1,847万8千円)

・ **中学校費** **1,640万円**
(繰越明許費 1,560万8千円)

3密対策を主眼とした小・中学校の生活環境改善に加え、避難所開設時の換気・暑さ対策にも配慮し、網戸等の新設・増設及び大型扇風機の整備を全校で実施

教育情報化推進事業費

・ 小学校費 (2定) 4億3,089万5千円→(補正後) 4億6,580万円

・ 中学校費 (2定) 2億7,170万円→(補正後) 2億9,900万7千円

・ **ネットワーク関係経費**

小学校費 **229万9千円**

中学校費 **255万1千円**

「1人1台端末」の使用に必要な通信を確保するため、新たに各小・中学校に高速なインターネット回線の開設及びWebフィルタリングサービスを導入

・ **GIGAスクールサポーター配置事業費**

小学校費 **999万6千円**

中学校費 **666万4千円**

「1人1台端末」の円滑な導入に向けて学習環境整備の設計や使用マニュアル作成等の支援業務をICT技術者を有する事業者へ委託

・ 端末導入経費
小学校費 1, 9 2 1 万円

中学校費 1, 0 7 9 万円
各端末に必要なソフトのインストールや初期設定、設置作業等を委託

・ モバイルルーター整備事業費
小学校費 3 4 0 万円

中学校費 2 6 0 万円
子供の学びの保障と教育の機会均等の観点から、インターネット環境を整えられない家庭の児童生徒に対し、貸出し可能なモバイル W i - F i ルーターを整備

・ 遠隔学習機能強化事業費
中学校費 4 7 0 万 2 千円
同時双方向授業の際に黒板や教科書を映すことができる書画カメラを整備

学校給食費返還等事業費 4 2 3 万 5 千円
2 月 2 7 日から春休みまでの学校給食休止により小樽市学校給食運営協議会が負担した、食材のキャンセルに係る違約金相当額を助成

学校給食費助成事業費補助金 1, 3 0 0 万円
夏・冬休み登校日の学校給食提供により追加の給食費を保護者に負担させないため、小樽市学校給食運営協議会に対し、相当分を助成

学校給食事業者等支援事業費 2 6 6 万円
・ 4・5月の学校給食休止により影響を受けた学校給食事業者に対し、安定的な供給体制を維持できるよう支援金を支給
・ 小樽市学校給食運営協議会が負担した、4月分の食材のキャンセル費用相当額を助成

放課後児童健全育成事業費（社会教育総務費） 1, 4 8 1 万 3 千円

・ 会計年度任用職員給与費等（新型コロナウイルス感染症対応開設分）
8 4 7 万 5 千円
学校の臨時休業に伴う臨時開設に要した人件費の増

・通信環境整備事業費 219万8千円
緊急時のスムーズな連絡体制を構築するため、パソコン等の通信機器を整備

・慰労金支給事業費 414万円
学校の臨時休業に伴う臨時開設期間中に勤務した職員に対し、慰労金として、一人当たり3万円を支給

日本遺産炭鉄港展示施設整備事業費 1,900万円
感染症収束を見据えた観光振興対策として、鉄道展示「手宮駅構内」を、日本遺産「炭鉄港」を紹介する、本館のシンボリックな展示として更新・再整備

プラネタリウム設備等整備事業費 1,500万円
3密対策を主眼としたプラネタリウムの環境改善を図るため、換気・投影システムの更新並びに座席の再配置

学習パンフレット作成事業費 100万円
教育旅行等の研修先として利用促進を図るため、ダウンロード等により事前学習などで活用できる文学館・美術館に関するパンフレットを作成

上記のほか、
放課後児童クラブの3密対策のため、令和2年5月の1か月間は利用自粛を求めたことから、一度も利用しなかった場合の手数料減免分について、臨時交付金などを活用した財源補填を予算計上しています。

《その他の新型コロナウイルス感染症対策関連予算》

児童館関係経費（新型コロナウイルス感染症対応分）（総合福祉センター費）
50万円
とみおか児童館に対し、感染防止のために必要な備品や消耗品を購入

ファミリーサポートセンター事業費（新型コロナウイルス感染症対応分）
40万円
感染防止のために必要な備品や消耗品を購入

塩谷児童センター運営経費
（放課後児童健全育成事業費（新型コロナウイルス感染症対応分））
48万円
感染防止のために必要な備品や消耗品を購入

児童館関係経費（新型コロナウイルス感染症対応分）（児童福祉総務費）
100万円
いなきた児童館及び塩谷児童センターに対し、感染防止のために必要な備品や消耗品を購入

つどいの広場事業補助金（新型コロナウイルス感染症対応分）
50万円
感染防止のために必要な備品や消耗品の購入に係る費用の一部を助成
・助成先：学校法人浄暁学園（朝里幼稚園わくわく広場）

保育環境改善等事業費補助金
298万8千円
（2定）260万2千円→（補正後）559万円
感染防止のために必要な消耗品の購入等に係る費用の一部を助成
・助成先：市内12施設（私立保育所、認定こども園）

感染拡大防止対策事業費補助金
720万円
感染防止のために必要な消耗品の購入等に係る費用の一部を助成
・助成先：市内15施設（私立保育所、認定こども園）

市立保育所費（感染症対策事業費）
250万円
（2定）237万7千円→（補正後）487万7千円
市立保育所5か所に対し、感染防止のために必要な備品を購入

地域子育て支援センター事業費（新型コロナウイルス感染症対応分）
150万円
地域子育て支援センター3か所に対し、感染防止のために必要な備品や消耗品を購入

市民会館・公会堂・市民センター施設関係経費（臨時休館等損失補填金）
130万5千円
新型コロナウイルスの影響による利用料金制度導入施設指定管理者への損失補填金（令和2年2・3月分）

いなきたコミュニティセンター施設関係経費
（管理代行業務費等（現年度追加分）（新型コロナウイルス感染症対策経費））
27万3千円
職員の感染が判明したために実施した館内床消毒作業に係る経費の増

分娩前新型コロナウイルス検査事業費 500万円

- ・分娩を控えた妊婦が希望する場合にPCR検査等を実施
- ・検査の自己負担額について一人当たり2万円を上限として助成

放課後児童健全育成事業費（レクリエーション用具購入ほか運営費（新型コロナウイルス感染症対応分））（勤労女性センター費） 40万3千円

感染防止のために必要な備品等を購入

放課後児童健全育成事業費（レクリエーション用具購入ほか運営費（新型コロナウイルス感染症対応分））（社会教育総務費） 600万円

感染防止のために必要な備品や消耗品等を購入

◇ **その他の補正予算**

市職員福利厚生会交付金 △48万4千円
(当初) 169万8千円→(補正後) 121万4千円
潮まつり開催中止に伴う減

戸籍情報システム改修事業費 149万6千円
戸籍法の一部改正に対応するため、現在使用している戸籍システムにおいて、戸籍副本データの全件送信と情報提供用個人識別符号取得機能に係る改修を実施

戸籍附票・住民基本台帳システム改修事業費 944万9千円
デジタル手続法の成立、住民基本台帳法の一部改正に対応するため、戸籍システムと住民基本台帳システムを連携する仕組みを構築

戸籍除附票データ整備事業費【債務負担】 —
(債務負担3年度3,900万円)
デジタル手続法の成立、住民基本台帳法の一部改正により旧附票受付システムで管理していた令和元年10月廃棄予定の除附票を保存する必要が生じたため、旧システムから該当の除附票を現戸籍システムに移行

生活保護システム改修事業費 66万円
生活保護法改正により創設された「日常生活支援住居施設」への委託事務費支給に対応するため、現行システムを改修

「COOL CHOICE」推進事業費	500万円
国が推進する二酸化炭素の排出抑制に向けた取組を普及するため、ラッピングバスの運行やSNSを利用したインターネット広告等による啓発を実施	
潮まつり実行委員会補助金	△555万円
(当初) 555万円→(補正後) ー円 潮まつり開催中止に伴う皆減	
海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費	△21万2千円
(当初) 190万円→(補正後) 168万8千円 潮まつり開催中止に伴う減	
環日本海クルーズ推進事業費	△80万円
(当初) 125万円→(補正後) 45万円 環日本海クルーズ推進協議会の実施予定事業中止に伴う負担金の減	
小樽港クルーズ推進事業費	△1,100万円
(当初) 1,400万円→(補正後) 300万円 クルーズ船入港回数の減	
港湾計画改訂事業費(航行安全検討業務費)	2,175万円
港湾計画において、クルーズ船の大型化に対応した港湾施設の規模・配置を検討するため、航行シミュレーションなどによる航行安全検討業務を委託	
校舎等施設整備費(中学校費)	430万円
(当初) 2,000万円→(補正後) 2,430万円 松ヶ枝中学校の移転開校後に実施したグラウンド施設の追加整備に伴う増額	
会計年度任用職員給与費等(社会体育総務費)	△41万4千円
(当初) 41万4千円→(補正後) ー円 おたる運河ロードレース大会開催中止に伴う皆減	
おたる運河ロードレース大会実行委員会補助金	△210万円
(当初) 210万円→(補正後) ー円 おたる運河ロードレース大会開催中止に伴う皆減	

(国等への返還金) 国や道から超過交付となった国庫支出金等の返還

令和元年度超過交付額返還金 2億595万3千円

過年度超過交付額返還金 66万3千円

(その他)

[歳入] 市税 4億6,600万円
地方特例交付金 644万4千円
普通交付税 △2億3,478万7千円
財政調整基金繰入金 1,888万9千円
繰越金 1億4,032万5千円
臨時財政対策債 △1億2,780万6千円

[積立金] 庁舎建設資金基金積立金 1,000万円
財政調整基金積立金 7,016万3千円
寄附に伴う積立金 3,679万円
ふるさと応援基金積立金ほか3件

[繰出金] 特別会計への繰出金 △2,115万1千円
住宅事業特別会計

◆ 国民健康保険事業特別会計

保健事業推進事業費 364万5千円
(当初) 3,231万5千円→(補正後) 3,596万円

・医療費分析経費 363万円
疫学分析に基づく医療費適正化額の可視化

・健康相談・訪問指導事業費 1万5千円
生活習慣病重症化予防印刷発送を追加

特定健康診査等事業費 95万2千円
(当初) 7,071万8千円→(補正後) 7,167万円
特定健診未受診者への勧奨件数を追加

糖尿病性腎症重症化予防事業費 27万3千円
(当初) 346万4千円→(補正後) 373万7千円
対象者への電話指導委託を追加

一般被保険者償還金及び還付加算金 **3,046万1千円**

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、保険料減免に該当した被保険者等に対する令和元年度分の還付金

◆ **介護保険事業特別会計**

第1号被保険者保険料償還金及び還付加算金 **908万9千円**

- ・被保険者への令和元年度保険料返還金等還付未済分
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、保険料減免に該当した被保険者に対する令和元年度分の還付金

◆ **後期高齢者医療事業特別会計**

後期高齢者医療歯科健康診査普及啓発事業費 **156万8千円**

令和元年における歯科未受診者12,000人に対し、歯科健康診査の受診を促すリーフレットを送付

保険料還付金及び還付加算金 **462万円**

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、保険料減免に該当した被保険者に対する令和元年度分の還付金

◆ **病院事業会計**

医業費用 **543万6千円**

- 新型コロナウイルス感染症対応に係る改修・物品の購入費
- ・呼吸保護具用マスク、フィルターの購入
 - ・救急外来待合室（酸素・空気・吸引設備）改修
 - ・簡易陰圧装置設置
 - ・外国人患者受入れのための多言語対応タブレット端末等の整備

特別損失 **2億2,000万円**

新型コロナウイルス感染症対応に係る病院職員及び委託事業者の従事者に対し、国の交付要綱に沿って慰労金を給付

建設改良費 **9,107万1千円**

- 超音波画像診断装置 ほか医療機器の購入
HEPAフィルタ付きクリーンパーテーションの購入

上記のほか、

一般会計では、道支出金や寄附金、助成金の交付による事業費の財源振替、特別会計では、一般会計と同様に国等への返還金のほか、令和元年度決算に伴い繰越金や積立金などを予算計上しています。